

案件概要表

I. 提案事業の概要	
1. 対象国名	ウズベキスタン共和国
2. 案件名	干し柿を用いた副収入向上のための技術移転モデルの確立
3. 事業の背景と必要性	<p>ウズベキスタン共和国では大規模灌漑による農地の塩害が深刻化しており、農地の9割以上が被害を受けている。そのため、同国政府は灌漑農業から節水農業への転換に力を入れており、果樹の輸出強化にも取り組んでいる。その結果、同国は世界第6位の柿生産国となっている。中央アジアでは、古来より果樹の保存のため、ドライフルーツの生産が盛んである。しかし、柿に関しては、ウズベキスタンの人々は生食することが多く、柿の乾燥加工技術は非常に限られている。また、生食用の柿の市場価格は1キロあたり1米ドル以下と他の果物と比べてとても安い。対象地域のデフカン農家（小規模な個人経営の農家）に聞き取り調査を実施した所、生産した柿は自家消費のみで、半分近くは廃棄されていることが分かった。SGDsの観点からも食品ロスを減らすために廃棄している柿を商品化することは重要である。</p> <p>こうした背景をふまえ、本事業では、これまで現金収入が見込めなかった柿を、農家に加工技術を指導することで、長期保存できる干し柿に加工し、付加価値をつけて販売し、サマルカンドのデフカン農家の副収入向上に貢献する。</p>
4. プロジェクト目標	対象地区においてプロジェクトに参加したデフカン農家が干し柿を作成することで現金を得る
5. 対象地域	サマルカンド州（パスタルガン地区・オクダリオ地区）
6. 受益者層 (ターゲットグループ)	ウズベキスタン共和国サマルカンド州 パスタルガン地区とオクダリオ地区の柿の木を所有するデフカン農家 100 軒
7. 生み出すべきアウトプット及び活動	<p><アウトプット></p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 新たなドライフルーツ農産物(干し柿)が完成する 2. デフカン農家が干し柿をつくり販売できるようになる <p><活動></p> <ol style="list-style-type: none"> 1-1. サマルカンド州パスタルガン地区とオクダリオ地区の対象農家（100 軒）を選定する 1-2. 指導役となるカウンターパートに日本人専門家が干し柿の製造方法を研修する 1-3. カウンターパートと品質管理や現地ニーズに即した商品化のための注意事項を含んだ干し柿マニュアルを作成する 1-4. 日本人専門家による干し柿講習会を実施する 1-5. 日本人専門家による柿の木の剪定に関する講習会を実施する 1-6. 品質向上と販売促進のための干し柿の農家グループを形成する 1-7. 農家グループによる干し柿の品質向上のための勉強会を実施する 1-8. 農業普及員を育成する指導候補者を対象に干し柿作成の本邦研修を実施する 2-1. 干し柿を仲買人に販売する 2-2. 干し柿をバザールで販売する 2-3. 専門家の協力を得てマーケティング及び広報活動（PR）を実施し、アンテナショップ等、干し柿の新たな販売ルートを確立する
8. 実施期間	2023年8月1日～2026年7月31日（3年）
9. 事業費概算額	9,985千円
10. 現地カウンターパート	タシケント州立農業大学サマルカンド校
II. 実施団体の概要	
1. 提案団体名	特定非営利活動法人日本ウズベキスタン協会
2. 活動内容	日本国とウズベキスタン共和国両国市民の文化、芸術、学術、教育、経済、スポーツ等における交流を促進し、両国の友好親善に寄与するために、講演会、文化交流会、ウズベク語講座、文化講座、貿易講座等を開催。